

対象年度	H17	作成部課室	土木部土木総務課	関係部課室	土木部空港対策課, 臨空地域整備推進課, 港湾課, 都市計画課, 産業経済部国際経済課
------	-----	-------	----------	-------	---------------------------------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	4 - 10 - 1	政策名	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化
------	------------	-----	-------------------------

政策概要	首都圏等の空港や港湾に依存しないで国内外の人やモノの交流を活発に行えるよう、県内の空港や港湾の機能の強化と活用を進めます。
------	---------------------------------------------------------------

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
1	仙台空港の機能の強化と活用 国内外の交流拠点である仙台空港の機能を強化するとともに一層の活用を促進します。	仙台空港利用者数(国内線、国際線)	A
2	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用 誰もが国内外の各地域に容易に行き来できるように、仙台空港へのアクセス(連絡手段)を整備するとともに、東北の空の玄関口にふさわしい街づくりを行うため、仙台空港周辺地域に仙台空港を核とした交流、物流、情報の拠点の形成を目指します。	仙台空港利用者数(国内線、国際線)	A
3	仙台国際貿易港の整備と活用 貿易や物流を拡大し、国際物流拠点化を図るため、仙台国際貿易港を整備します。	仙台塩釜港(仙台港区)外貿コンテナ貨物取扱量	A
4	仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用 仙台国際貿易港の世界へのゲートウェイ的機能と仙台東部道路等の交通ネットワークを活かし、東北の産業経済拠点としての機能強化を図るため、仙台港背後地に商業・流通業務地を整備します。	仙台港背後地地区市街化率	A
5	地域を支える港湾の整備と活用 物資の大量輸送を受け持ち県内の産業経済を支える港湾の機能を高めます。		
6	輸出入を促進する貿易振興策の充実 企業や個人が空港や港湾を利用し、輸出入をしやすくする取組みを行います。		

達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値、点) A	70.0	重視度 A	70	70	70	70
満足度(中央値、点) B	50.0	満足度 B	60	60	60	60
かい離 A-B	20.0	かい離 A-B	10	10	10	10
【かい離度】	【高い】	【かい離度】	【中】	【中】	【中】	【中】
満足度60点以上の回答者割合(%)	44.1	満足度60点以上の回答者割合	59.5	55.4	56.3	-

かい離:極めて高い(40点以上), 非常に高い(30点以上~40点未満), 高い(20点以上~30点未満), 中(10点以上~20点未満), 低い(10点未満)  
第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切 概ね適切 課題有

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・各施策の概要は上記のとおりであり、国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化のために、6施策すべてが必要と認められる。  【施策の重複・矛盾点の有無】 おおむね適切 ・施策間の重複はない。なお、より適切なものとするため、施策枠組みについて検討することとする。
A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 おおむね適切 ・本政策は政策満足度50点と低く、かい離は20と高くなっている。また、満足度60点以上の回答者割合は44.1%となっており、政策の必要性は認められている。 ・政策目的の実現のためには、空港や港湾機能本体の整備だけでなく、周辺施設やアクセス機能も一体的に整備するとともに、活用推進策や貿易振興策といったソフト事業も推進していく必要がある。

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括	
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか( )				
1	第5回 21.5%	2位	・本施策の優先度は 6施策中 2位である。	・政策目的の実現には必要な施策であり、優先度も施策群においては高い。 ・従来の空港機能に加え、充実するアクセス機能を活用し、既存路線の利用促進、新規路線誘致や運休路線の再開に引き続き重点的に取り組む必要がある。 ・施策の優先度は6施策中1位である。 ・本政策目的の実現のためには、空港や港湾本体の整備だけでなく、周辺施設やアクセス機能の一体的整備が不可欠であり、本施策の重点的な取り組みが必要である。 ・東北の物流拠点として、港湾機能の整備は一定程度進んでおり、バルク貨物、ユニット貨物とも増加傾向にある。特に外貿コンテナ貨物取扱量は仮目標値を上回る状況にある。 ・今後はコンテナ定期航路の新規誘致・安定化等、ポートセールス活動を積極的に推進するとともに、コンテナ貨物取扱量の増加に対応した施設整備に重点的に取り組む必要がある。 ・また、一般県民の優先度があまりにも低い場合、港湾の効用等について、各種イベントや広報活動を通じ、積極的にPRして行く必要がある。 ・政策目的の実現には必要な施策であるが、港湾機能そのものの整備よりはそれを支えるといった間接的な施策であるため、県民へのアピールに乏しく、優先度は高くない。 ・しかし、国内外の人やモノの交流の窓口となる仙台国際貿易港の港湾機能強化のためには、周辺施設の整備と活用が不可欠であり、今後とも継続して取り組んでいく必要がある。 ・港湾は臨海型産業及び水産・観光産業等、地域経済を支える重要な役割を担っていることで、沿岸部において優先度が高い。 ・港湾機能の整備はある程度進んでいるものの、安全・安心して利用できる施設整備や企業立地等、地域の活性化を支援するため重点的に取り組んでいく必要がある。 ・優先度は高くないが、経済のグローバル化が益々進展していく中で、日本の貿易額も引き続き増加しており、今後も輸出入が増加することが考えられることから、これらの施策で海外展開をしようとする企業、海外展開をしている企業を支援するため重点的に取り組む必要がある。	大	
	第4回 20.8%	2位	・本施策のikai離は 10.0点と 中程度である。			
	第3回 23.6%	2位	[結論]必要性: ある程度感じている			
2	42.5%	1位	・本施策の優先度は 6施策中 1位である。		・政策目的の実現には必要な施策であるが、港湾機能そのものの整備よりはそれを支えるといった間接的な施策であるため、県民へのアピールに乏しく、優先度は高くない。 ・しかし、国内外の人やモノの交流の窓口となる仙台国際貿易港の港湾機能強化のためには、周辺施設の整備と活用が不可欠であり、今後とも継続して取り組んでいく必要がある。 ・港湾は臨海型産業及び水産・観光産業等、地域経済を支える重要な役割を担っていることで、沿岸部において優先度が高い。 ・港湾機能の整備はある程度進んでいるものの、安全・安心して利用できる施設整備や企業立地等、地域の活性化を支援するため重点的に取り組んでいく必要がある。 ・優先度は高くないが、経済のグローバル化が益々進展していく中で、日本の貿易額も引き続き増加しており、今後も輸出入が増加することが考えられることから、これらの施策で海外展開をしようとする企業、海外展開をしている企業を支援するため重点的に取り組む必要がある。	大
	42.9%	1位	・本施策のikai離は 15.0点と 中程度である。			
	42.3%	1位	[結論]必要性: ある程度感じている			
3	2.8%	6位	・本施策の優先度は 6施策中 6位である。	・政策目的の実現には必要な施策であるが、港湾機能そのものの整備よりはそれを支えるといった間接的な施策であるため、県民へのアピールに乏しく、優先度は高くない。 ・しかし、国内外の人やモノの交流の窓口となる仙台国際貿易港の港湾機能強化のためには、周辺施設の整備と活用が不可欠であり、今後とも継続して取り組んでいく必要がある。 ・港湾は臨海型産業及び水産・観光産業等、地域経済を支える重要な役割を担っていることで、沿岸部において優先度が高い。 ・港湾機能の整備はある程度進んでいるものの、安全・安心して利用できる施設整備や企業立地等、地域の活性化を支援するため重点的に取り組んでいく必要がある。 ・優先度は高くないが、経済のグローバル化が益々進展していく中で、日本の貿易額も引き続き増加しており、今後も輸出入が増加することが考えられることから、これらの施策で海外展開をしようとする企業、海外展開をしている企業を支援するため重点的に取り組む必要がある。		大
	4.1%	6位	・本施策のikai離は 10.0点と 中程度である。			
	3.1%	6位	[結論]必要性: あまり感じていない			
4	5.4%	5位	・本施策の優先度は 6施策中 5位である。		・政策目的の実現には必要な施策であるが、港湾機能そのものの整備よりはそれを支えるといった間接的な施策であるため、県民へのアピールに乏しく、優先度は高くない。 ・しかし、国内外の人やモノの交流の窓口となる仙台国際貿易港の港湾機能強化のためには、周辺施設の整備と活用が不可欠であり、今後とも継続して取り組んでいく必要がある。 ・港湾は臨海型産業及び水産・観光産業等、地域経済を支える重要な役割を担っていることで、沿岸部において優先度が高い。 ・港湾機能の整備はある程度進んでいるものの、安全・安心して利用できる施設整備や企業立地等、地域の活性化を支援するため重点的に取り組んでいく必要がある。 ・優先度は高くないが、経済のグローバル化が益々進展していく中で、日本の貿易額も引き続き増加しており、今後も輸出入が増加することが考えられることから、これらの施策で海外展開をしようとする企業、海外展開をしている企業を支援するため重点的に取り組む必要がある。	大
	4.7%	5位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。			
	5.5%	5位	[結論]必要性: あまり感じていない			
5	16.1%	3位	・本施策の優先度は 6施策中 3位である。	・政策目的の実現には必要な施策であるが、港湾機能そのものの整備よりはそれを支えるといった間接的な施策であるため、県民へのアピールに乏しく、優先度は高くない。 ・しかし、国内外の人やモノの交流の窓口となる仙台国際貿易港の港湾機能強化のためには、周辺施設の整備と活用が不可欠であり、今後とも継続して取り組んでいく必要がある。 ・港湾は臨海型産業及び水産・観光産業等、地域経済を支える重要な役割を担っていることで、沿岸部において優先度が高い。 ・港湾機能の整備はある程度進んでいるものの、安全・安心して利用できる施設整備や企業立地等、地域の活性化を支援するため重点的に取り組んでいく必要がある。 ・優先度は高くないが、経済のグローバル化が益々進展していく中で、日本の貿易額も引き続き増加しており、今後も輸出入が増加することが考えられることから、これらの施策で海外展開をしようとする企業、海外展開をしている企業を支援するため重点的に取り組む必要がある。		大
	15.2%	3位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。			
	15.1%	3位	[結論]必要性: 比較的感じていない			
6	9.8%	4位	・本施策の優先度は 6施策中 4位である。		・政策目的の実現には必要な施策であるが、港湾機能そのものの整備よりはそれを支えるといった間接的な施策であるため、県民へのアピールに乏しく、優先度は高くない。 ・しかし、国内外の人やモノの交流の窓口となる仙台国際貿易港の港湾機能強化のためには、周辺施設の整備と活用が不可欠であり、今後とも継続して取り組んでいく必要がある。 ・港湾は臨海型産業及び水産・観光産業等、地域経済を支える重要な役割を担っていることで、沿岸部において優先度が高い。 ・港湾機能の整備はある程度進んでいるものの、安全・安心して利用できる施設整備や企業立地等、地域の活性化を支援するため重点的に取り組んでいく必要がある。 ・優先度は高くないが、経済のグローバル化が益々進展していく中で、日本の貿易額も引き続き増加しており、今後も輸出入が増加することが考えられることから、これらの施策で海外展開をしようとする企業、海外展開をしている企業を支援するため重点的に取り組む必要がある。	大
	10.5%	4位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。			
	8.9%	4位	[結論]必要性: あまり感じていない			

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 おおむね適切  
 ・各指標とも適切であり、今後も継続する。

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 おおむね適切  
 ・4施策に指標が設定されており、おおむね適切と判断する。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1	施策2	施策3	施策4		
政策評価指標達成度	有効	有効	有効	有効	有効		
県民満足度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	課題有	概ね有効		
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効	有効		
全体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効	概ね有効		

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・当該政策に関し、施策群の設定(A-1)、政策評価指標の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果おおむね適切と判断する。

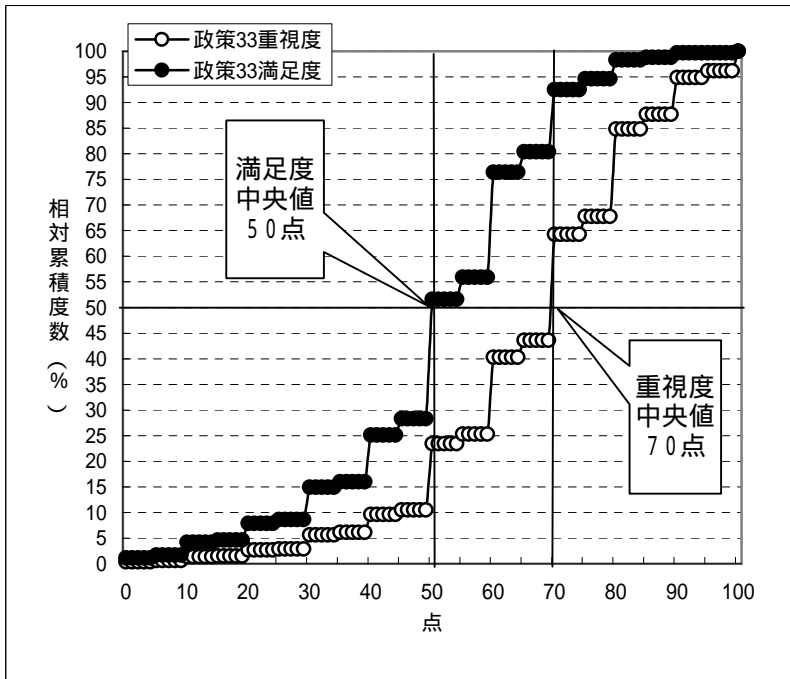
対象年度 H17

政策番号 4 - 10 - 1

政策名 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 51.6      高認知度 27.1

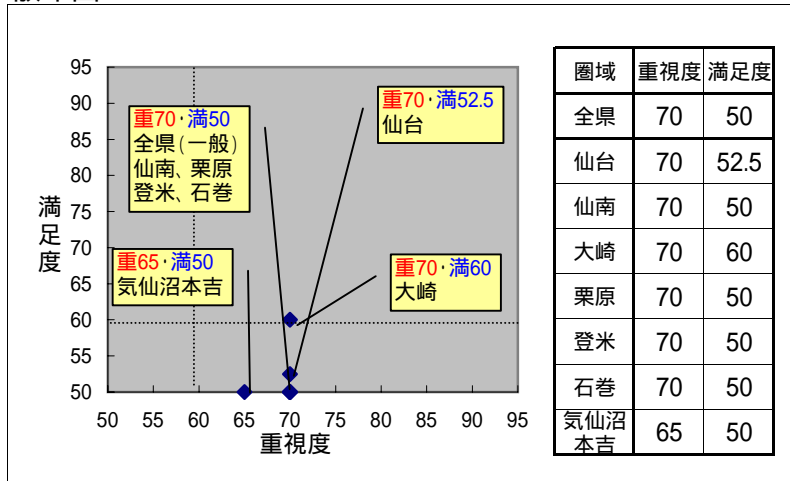


**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	70	72.5	50	60	60
第1四分位	-	-	-	40	50	50
第3四分位	-	-	-	60	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

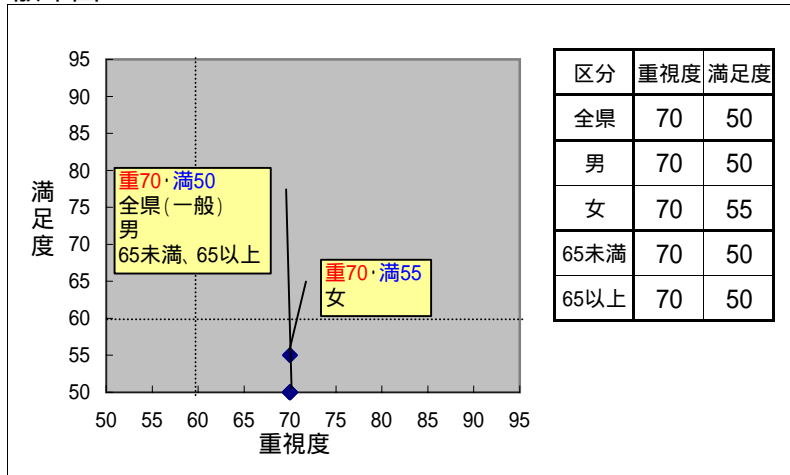
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	70	70	-	52.5	60	-
仙南	70	60	-	50	55	-
大崎	70	70	-	60	60	-
栗原	70	60	-	50	60	-
登米	70	70	-	50	60	-
石巻	70	65	-	50	50	-
気仙沼本吉	65	70	-	50	50	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	70	-	-	50	-	-
女	70	-	-	55	-	-
65未満	70	-	-	50	-	-
65以上	70	-	-	50	-	-

対象年度 H17

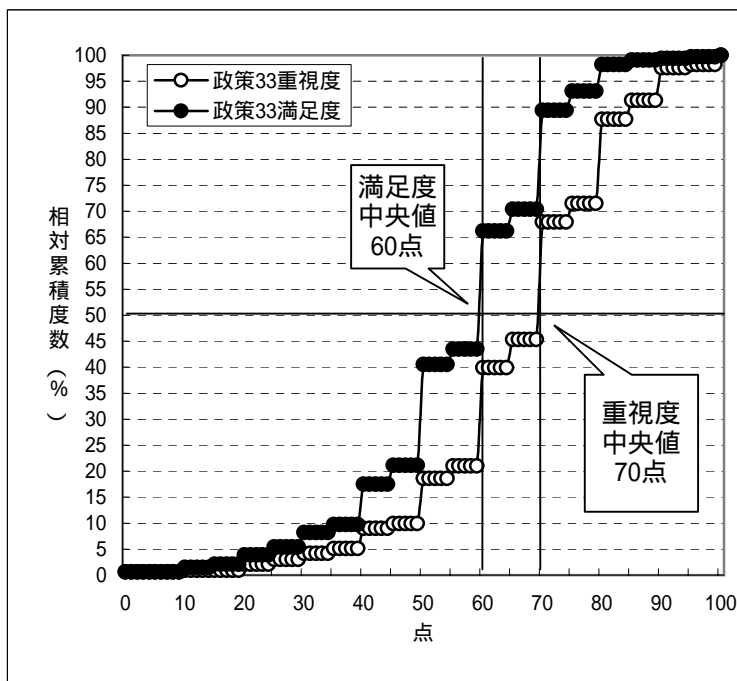
政策番号 4 - 10 - 1

政策名 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化

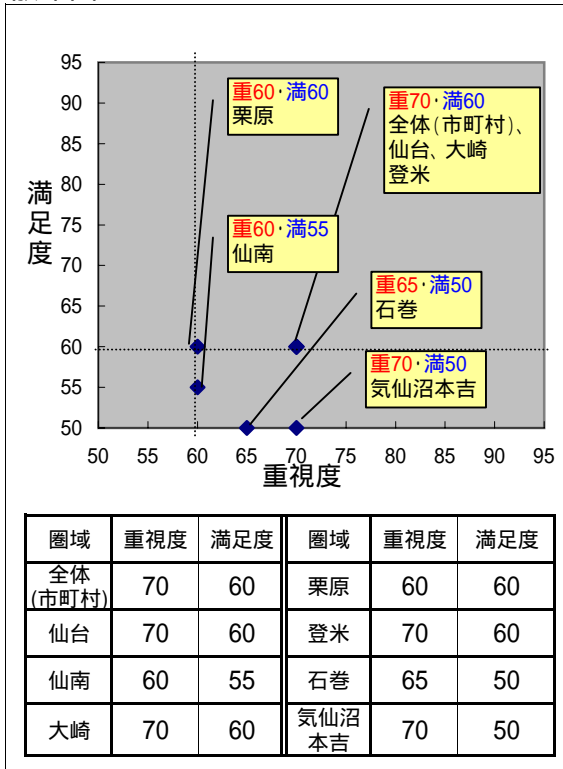
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 58.7

高認知度 38.4



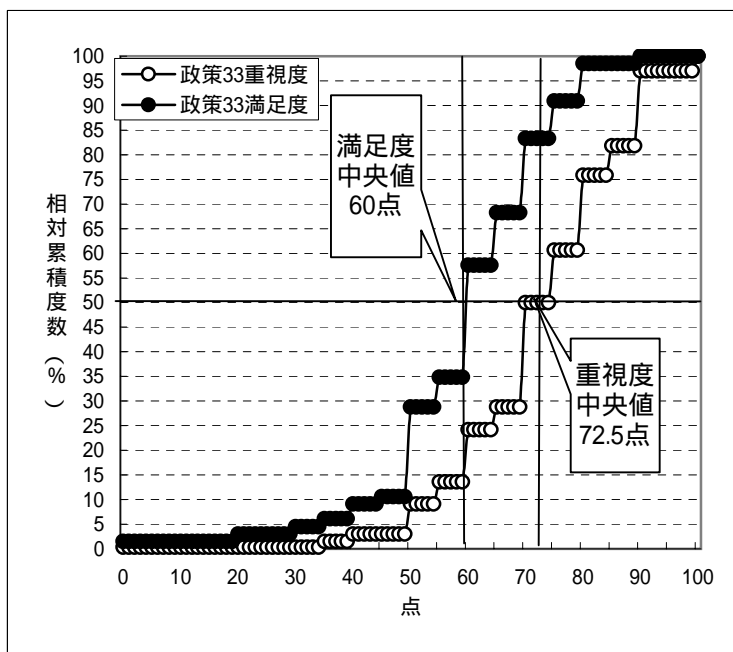
散布図



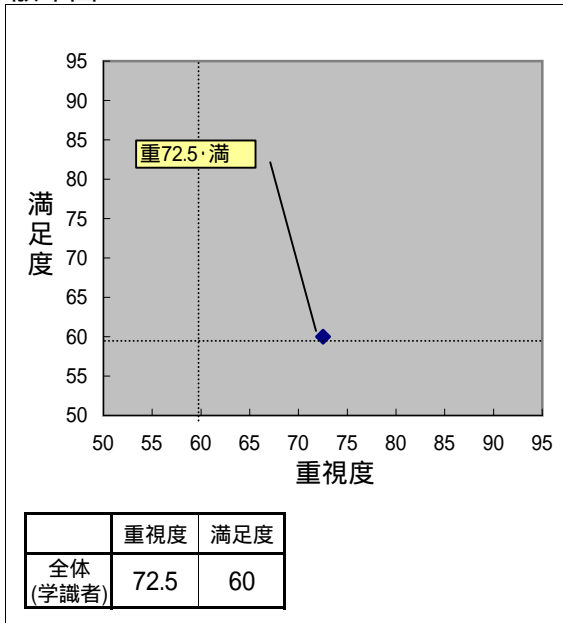
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 80.6

高認知度 67.1



散布図

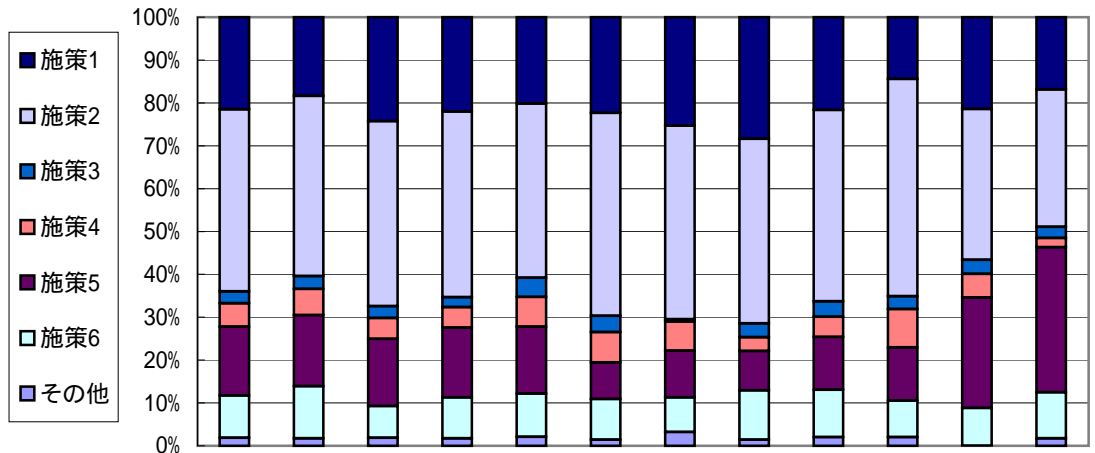


対象年度 H17

政策番号 4 - 10 - 1

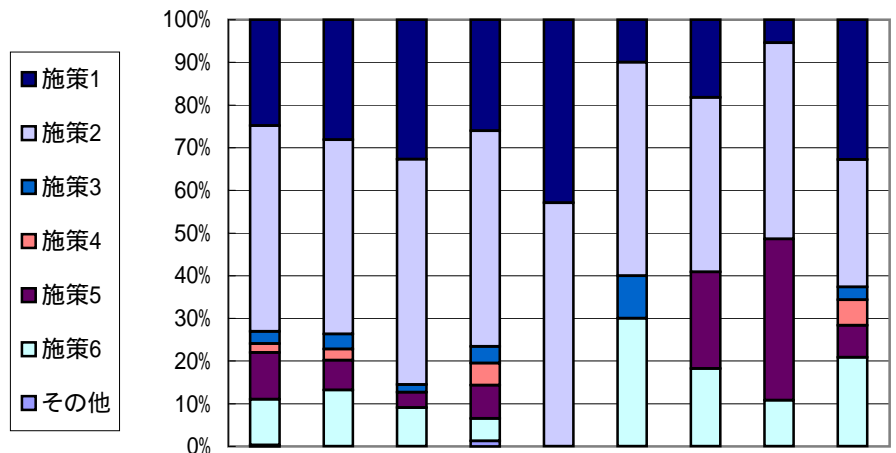
政策名 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
施策1	仙台空港の機能の強化と活用	21.5	18.4	24.3	22.0	20.2	22.3	25.3	28.4	21.7	14.4	21.4	16.9
施策2	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	42.5	42.0	43.2	43.3	40.6	47.4	45.2	43.1	44.7	50.7	35.2	32.0
施策3	仙台国際貿易港の整備と活用	2.8	3.0	2.8	2.3	4.5	3.8	0.5	3.2	3.6	3.0	3.3	2.6
施策4	仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	5.4	6.1	4.8	4.8	6.9	7.1	6.8	3.2	4.7	9.0	5.5	2.2
施策5	地域を支える港湾の整備と活用	16.1	16.6	15.7	16.2	15.6	8.5	10.9	9.2	12.3	12.4	25.8	33.8
施策6	輸出入を促進する貿易振興策の充実	9.8	12.2	7.4	9.6	10.1	9.5	8.1	11.5	11.1	8.5	8.8	10.8
	その他	1.9	1.7	1.9	1.7	2.1	1.4	3.2	1.4	2.0	2.0	0.0	1.7

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



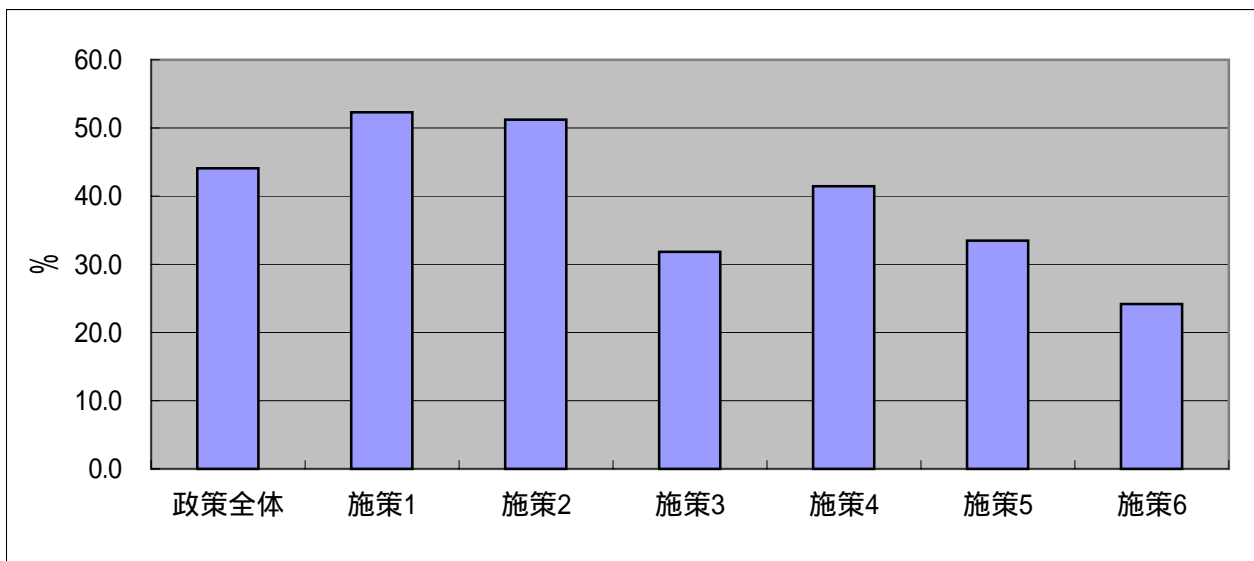
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
施策1	仙台空港の機能の強化と活用	24.8	28.1	32.7	26.0	42.9	10.0	18.2	5.4	32.8
施策2	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	48.3	45.6	52.7	50.6	57.1	50.0	40.9	45.9	29.9
施策3	仙台国際貿易港の整備と活用	2.8	3.5	1.8	3.9	0.0	10.0	0.0	0.0	3.0
施策4	仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	2.1	2.6	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
施策5	地域を支える港湾の整備と活用	11.0	7.0	3.6	7.8	0.0	0.0	22.7	37.8	7.5
施策6	輸出入を促進する貿易振興策の充実	10.7	13.2	9.1	5.2	0.0	30.0	18.2	10.8	20.9
	その他	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象年度 H17

政策番号 4 - 10 - 1

政策名 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回							
	政策全体	44.1							
施策1	仙台空港の機能の強化と活用	52.3							
施策2	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	51.2							
施策3	仙台国際貿易港の整備と活用	31.8							
施策4	仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	41.5							
施策5	地域を支える港湾の整備と活用	33.5							
施策6	輸出入を促進する貿易振興策の充実	24.2							